

# 第43回（2025 年度）インテリアコーディネーター資格試験 二次試験（プレゼンテーション）の解説

公益社団法人インテリア産業協会

## 1. 課題の要旨

今回は、30 歳代の子育てを始めた夫婦が購入した戸建住宅の「LDK」と「畳スペース」「土間スペース」のインテリアコーディネート提案する課題で、与えられた条件に基づきインテリアエレメントが適切に配置されているかがポイントである。

## 2. 「平面図」を解答するうえでのポイント

1)	与条件の理解	ゾーニングの適切さ
2)	図面による表現	図面の丁寧さと正確さ、家具表現の適切さ
3)	着彩による表現	着彩の範囲と丁寧さ、着彩の効果
4)	インテリアの計画	家具・ウインドートリートメント・絵画・観葉植物の配置・数・寸法の適切さ、動線の適切さ、照明計画の適切さ
5)	2)～4)の具体的な留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>①動作や歩行に支障がないように通路幅等を確保する</li> <li>②床の目地線は省略せずに正確に表現する</li> <li>③家具や床の質感がわかるように丁寧に着彩する</li> <li>④家具は正確な大きさで形状がわかるように表現する</li> <li>⑤家具や建具の開閉記号は必ず記入する</li> <li>⑥室・スペース・家具・床仕上げ材の名称を記入する</li> <li>⑦家具の寸法、床の高さを記入する</li> <li>⑧照明器具は場所と用途に応じて種類・個数を選択する</li> </ul>

## 3. 「仕上げ表」を解答するうえでのポイント

1)	インテリアの計画	各室の床、壁、天井の仕上げ材を適切に選択する
2)	1)の具体的な留意点	問題文中の指定仕上げ材を転記するだけでなく、具体的な材料・寸法等を記入する

## 4. 「インテリアパース」を解答するうえでのポイント

1)	図面による表現	図面の丁寧さと正確さ
2)	着彩による表現	着彩の範囲と丁寧さ、着彩の効果
3)	インテリアの計画	家具・建具の寸法・個数の適切さ、平面図との整合性
4)	1)～3)の具体的な留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指定された断面位置から見えるものはすべて表現する</li> <li>②床・壁・天井の稜線は必ず表現する</li> <li>③素材感や色を適切に表現する（縁甲板、コルクなど）</li> <li>④使用している状態を表現する</li> </ul>